

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ユーズキャリア

②事業者情報

名称：	アスク東川口保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	加藤 美磨里	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒331-0811 埼玉県川口市戸塚4-21-1	TEL	048-298-0083

③評価実施期間

令和4年9月1日(契約日)～令和5年3月27日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○経営母体である株式会社日本保育サービスは全国に約300の保育園・学童クラブ・児童館を運営しており、しっかりとした経営理念・グループ運営理念・保育理念育成理念・クレド等が定められています。それらは各保育園の現場職員にも徹底して周知されており、教育システムも構築され働きやすい環境作りを整備するなど、組織的な管理運営体制が築かれています。

○保育サービスの質の確保のため、職員の教育体制に力を入れており、「教育要件定義」を策定し、人材育成方針を明らかにし、職員に対する期待水準を明らかにすることで個々の職員がしっかりとした目標をもって業務することができており、個々の職員の業務への意欲やモチベーションの高さにつながっています。

○運営の透明性の確保のため、ホームページを活用し多くの情報を発信しており、よりわかりやすく園を紹介するシステムを構築しています。また園内においてはハグノート(園と保護者をつなぐコミュニケーションツール)やラクモボード(社内掲示板)、パステル(配信システム)などを駆使し、迅速にいつでも必要な情報の入手が可能になっており、職員は安心して業務に取り組むことができています。

○保育については、保育理念に基づいた明確な目標を持っており、保育方針は、『①自ら伸びようとする力を支えます。②五感を養って感性を豊かにします。③後のびする力を育みます。』としています。

○特徴的な取り組みとして、近隣との連携を重視し、個人宅の畑を提供いただき、全園児が収穫体験をしたり、隣接の高齢者デイサービス事業所との交流や、地域の小学校と手紙の交換、学童とのリモート交流、児童館の見学などを行っています。

○学研との業務提携により、学研式指導システム「もじかずランド」を導入し、「もじ・ことば」「かず」を楽しみながら遊びの中で学ぶことを取り入れています。

○保育の中で英語、体操、リトミック、ダンスなどのプログラムが充実しており、保護者から喜ばれています。

○成長曲線を作成し、子どもの食生活への助言に役立てたり、取り組んでいる保育内容(足育・木育・食育・知育・体育・花育・コミュニケーション・自己肯定感・健康)を玄関に掲示し、保護者へ具体的な支援を行っています。

○ホールがないため、パーティーや職員手製で幕を作り、舞台を設営するなどの工夫をして子どもたちに沢山の経験の場を設けるよう努めています。

◇特にコメントを要する点

○教育体系が確立され、「個人別年間研修計画」を策定していますが、時間内での研修ができていません。運営本部と協力しながら、研修システム(Web研修、見逃し配信など)の再構築が求められます。

○開かれた保育園を目指し、土曜日に園の開放をしていますが、参加者が集まらないようです。参加しやすいよう、勉強会を企画したり、地域ニーズを把握するためのアンケートなど、検討が求められます。

○保育室内に収納場所が無く、コーナーに物が置かれ使えない状態となっています。今後、収納庫を設置予定ということですが、子どもにとって居心地の良い空間となっていくことが望めます。

○保育内容では、男性保育士からの視点も加わり、保育が豊かになっています。今後はさらに男性保育士が活躍できるよう、働きやすい環境となることが望めます。

○コロナ禍で異年齢交流が難しくなっていますが、労りの心や思いやり、大きくなることへのあこがれや嬉しさが自然に育まれるような活動が広がることを期待します。

○隣接する高齢者施設や地域との交流、畑での収穫体験、散歩などを通して、さらに子どもが豊かな体験を味わうことができることを期待します。

○保護者アンケートより、イベントの廃止や縮小について残念という声があがっています。コロナ禍で実施が難しくなったイベントや戸外活動の縮小について、考え方を丁寧に伝えたり、一時中止であっても再開予定のものは保護者に知らせるなど、配慮が望めます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価結果を受け、評価をいただいた事は、より一層努力し、改善点には真摯に受け止め取り組んでいきたいと思えます。

職員の学びについては、一人ひとり年間計画的にすすめ、シフト調整を行ってまいります。特に時短勤務の職員に対しては、時間の工夫が必須となるため、職員連携をしっかりと行い、学びを実践に結び付け、保育士の質の向上を目指し、園全体の保育の質を上げてまいります。

地域に開かれた保育園として、掲示板の有効活用とクラスで散歩に出掛けた際に紙芝居や手遊びなど、公園に遊びに来ている近隣の親子へアプローチいたします。自園で行っている支援センターへ誘ってみるなど、待っているだけでなく積極的に関わりを持つように努めてまいります。

保育室内の環境については、2023年度大型修繕を実施予定の為、収納やエントランスを整え、さらに子どもたちはもちろん、保護者も居心地の良い園となれるよう努めます。

男性保育士が多いですが、男性だから…ではなく、自分だったどんな事ができるか？全職員が自主的に意欲的に働けるよう、個人面談や日々の関わりの中で深めていきたいと思えます。

コロナ禍で特に異年齢保育が難しくなりましたが、今後はクラス間での連携を大切に行ってまいります。また、大きな行事に対して、変更、工夫が余儀なく、子どもたちのためになにができるか？を最重要ポイントとして行ってきました。今後はいろいろ緩和されてくる中、今一度行事に対して再検討してまいります。

職員のスキルアップ、園内環境整備、保護者支援、地域へ開かれた保育園を今後も大切に、未来を担う子どもたちへ豊かな保育の実践に努めて参ります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり